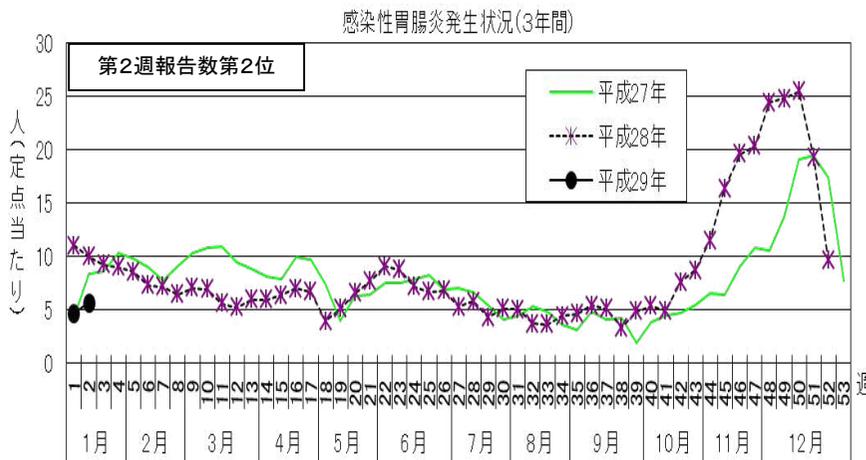
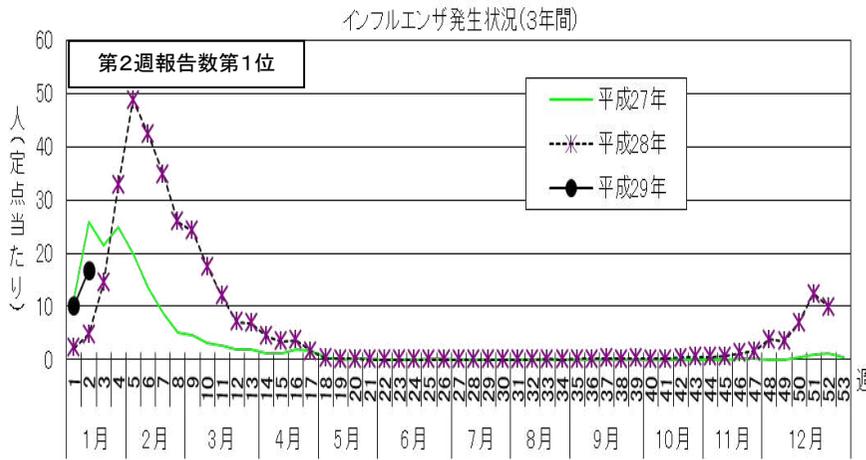


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年1月9日（月）～平成29年1月15日（日）〔平成29年第2週〕の感染症発生状況

第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は16.75人と前週（10.22人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.66人と前週（4.64人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.00人と前週（1.00人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



## インフルエンザに要注意～今シーズンの流行状況～

現在、全国的にインフルエンザの患者数が増加しています。川崎市においては、インフルエンザにより入院される方も増えており、特に高齢者の方の報告が多くなっています。  
 本市のリアルタイムサーベイランスによると、患者はA型インフルエンザが中心で、健康安全研究所に搬入される検体からは昨年多く検出されたAH1pdm09型（平成21年に流行した新型インフルエンザウイルス）と異なり、主にA香港型が検出されています。

川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)  
 インフルエンザリアルタイムサーベイランス地図情報  
 (平成29年1月16日報告分)  
 ※平成29年1月17日16:00時点

